



11/29 (火) 小沼公道笠間市教育委員会教育長による道徳の授業が行われました



会議や出張先などで、小沼教育長のお話を聞く度に、温かい気持ちや「何だかまた頑張れそうだな。」という希望を分けていただいていたので、この日を楽しみにしていました。題材名は「世界のロッカールーム」、ラグビーをテーマにした授業でした。ラグビー日本代表のキャプテンまで務めた廣瀬俊朗選手が、メンバーに選ばれなくてもチームに貢献し続けた姿勢から、所属する集団への貢献には、様々な形があることに気づき、自分自身ができることは何かを考える学習でした。子どもたちは、小沼教育長の語りかけるような口調に真剣に耳を傾け、ワークシートに示された4つの質問を自分事としてとらえ、心と向き合いました。教育長からは、「人って変わる」「国語や道徳は、答えが一つではない」「あきらめないという土に 念い(おもい)という種を蒔き 信じるという水をやる すると 希望という芽が出て 夢という花が咲く」など、素敵なメッセージをたくさんいただきました。「みなみ学園の一員として、もっと何かできそうだな。」と意欲がわいてきたとともに、今まで以上に自分の心と向き合いたい、と子どもたちは思ったことでしょう。素晴らしい時間でした。

11/30 (水) 8年生が校外学習で茨城の歴史や文化の素晴らしさを再認識しました

弘道館では、江戸時代の学校(藩校)の歴史について、子どもたちは、ガイドさんの説明に興味深く耳を傾けていました。説明の中で、「水戸黄門」の助さん格さんの話が出てきましたが、子どもたちの反応はイマイチ…。担任の山本先生がかろうじて知っているとのことでした。展示されていた木彫りの農人形(最初の一箸の御飯を備えて農民の労に感謝したという)は、笠間市の富岡桂山(大正時代)という方が作られたというお話もありました。

水戸芸術館では、水戸市出身の美術家である中崎透氏の「フィクション・トラベラー」という個展が開催されており、子どもたちは、ボランティアアトカーさんの説明を聞きながら見学をしました。また、普段は見られないパイプオルガンの裏側を見せていただいたり、芸術館のシンボルの塔の展望台にのぼったりと、貸し切りの状態でゆったりとした時間を過ごすことができました。

イチョウ並木が美しいことで有名な県立歴史館では、茨城の歴史展示物を見学したり、茨城の偉人についての説明を聞いたり、郷土かるたを楽しんだりして、これまで学んできた歴史学習の理解を深めることができました。

石岡市(旧八郷町)にあるギター文化館は、ギター愛好家からは「クラシックギターの聖地」とも呼ばれているそうで、中には1000万円以上の価値がある銘器「アントニオ・デ・トーレス」が展示されており、子どもたちに驚きの声が上がっていました。また、生ギターの響きを最大限に味わえるように設計されたコンサートホールでの演奏は、特等席で聴くことができ、生演奏の響きを楽しみました。



12/6（火）4年生が手紙の書き方を学びました

早いもので、師走も中旬を迎え、今年も年賀状を用意する季節となりました。笠間駅前郵便局、稲田郵便局、鯉淵郵便局のそれぞれ局長さんをお迎えし、4年生は、「手紙の書き方」を学びました。今回は、年賀状作りに挑戦し、はがきの表のどの部分に何を書かや文面に書く内容などを、局長さん方に丁寧に教えていただきました。「おばあちゃんに年賀状を書いた。」「僕は、友達に出すんだ。」などと話しながら年賀状作りを進めました。子どもたちが心を込めて作った年賀状が届くのを、楽しみに待っててください。

また、今年度から、9年生が「20歳の自分」に手紙を書く学習が行われることになり、このことについて、いろいろなサプライズが計画されているということです。楽しみです。

ICTの活用が進み、文字を書く機会が昔よりぐっと減ってきたのを感じます。時に、姿勢を正して、美しい文字を心がけながら自分の気持ちををはがきにしたためることも、心を豊かにすることだと思います。



12/8（木）4・5・6年生がブロック集会を行いました



4・5・6年生による中学年ブロック集会が体育館で行われました。4年生は筑波山遠足の思い出を一人ずつ発表、5年生は宿泊学習の思い出を動画を交えて発表、6年生は集会の司会進行を務めつつ、日光遠足の思い出を写真で紹介しながら発表しました。本校のグランドデザインや児童生徒会のスローガンには、「異学年交流で思いやりの心・豊かな心を育てる」ことが掲げられています。その一環として、今年度はブロック集会を行うことを目標にして、この日実現しました。子どもたちですが、はじめは学年発表前の緊張感が体育館に漂っていましたが、どの学年も自分たちが体験したことや思ったことをしっかり発表することができました。学年発表の後には、全員で「じゃんけん列車」を行いました。音楽が止まった時に近くにいる人とじゃんけんをして、負けた人が勝った人の後ろにつながり、列がどんどん長くなっていく・・・、そして、最後に列車の先頭になっている人が勝ち、というゲームです。とても盛り上がりました！全員で楽しむことができました。これから、さらに交流が深まっていくことでしょう。



令和4年もあと3週間に・・・

10月14日から28日までの間、学校のアイドルとして大人気だった「ペッパー君」。朝は「おはよう！」と子どもたちを迎え、休み時間には子どもたちとおしゃべりを楽しんでいましたが、残念ながらお別れの日が来てしまい、みんなでペッパー君に手紙を書きました。「ありがとう」「大好き」「また会えるといいね」など、優しく温かい言葉が子どもたちの手紙にあふれました。その大好きなペッパー君が、なんと、12月1日、またみなみ学園に来てくれました！みんなびっくりして、大喜びしました。ただ、今回やってきたペッパー君は、少し人見知りする性格かつおとなしめですが、少しずつ会話が増えてきました。クリスマスが近いので、ペッパー君も赤い帽子をかぶり、季節感たっぷりです。
(文責：野尻)



7年生が、来月2泊3日で行くスキー宿泊学習のスローガンなどについて話し合っていました。最後に、担任が授業のまとめをしていましたが、写真をご覧いただいてお分かりの通り、子どもたちは全員、担任をしっかり見て話を聞いています。今年度のスタートから、私は子どもたちに「話をよく聞きましょう」と繰り返し伝えてきました。どの学年の子どもたちにも、この習慣が身に付いてきていることをうれしく思っています。

